

2019 7/20

「事業利益」や「コア営業利益」など独自の利益指標を開示する企業が¹増えている。「純利益」など会計基準に基づく利益と異なる指標で、国際会計基準（IFRS）を採用する企業で開示が²立つ。国際基準の採用企業のうち、独自の指標を開示する企業は3割に上る。会社側は投資家に本業の利益動向を理解してもらうことを狙うが、他社と比較しにくいなど課題もある。

日本経済新聞が8月末時点で国際基準を採用する上場企業204社を対象に調べた。直近期末の決算短信で算出方法が表示されている利益指標を「独自の利益指標」として集計したところ、開示企業は63社と3割を占めた。企業独自の指標は会計原則（GAAP）に基づかないとして、「ノン

増える独自の利益指標

「事業利益」「コア営業利益」… 本業の動向示す

独自の利益指標の開示企業が ¹ 増えている		
社名	独自の利益指標	算出方法
武田薬品工業	コア営業利益	企業買収やリストラなどの費用を除いた利益
三菱ケミカルホールディングス	コア営業利益	日本基準の営業利益に近似
アサヒグループホールディングス	事業利益	日本基準の営業利益に近似
日立製作所	調整後営業利益	日本基準の営業利益に近似
すかいらーくホールディングス	EBITDA	利払い・税引き・償却前利益

比較しにくい難点も

・「ギャップ指標」とも呼ばれる。算出する。特殊要因を含まない。ケリンホールディングスは独自指標として「事業利益」を開示している。の動向を理解してはし

「コア営業利益」は企業買収などの影響を除くが、事業売却の影響は含まれる。一方、三菱ケミカルホールディングスの「コア営業利益」は営業利益から非経常的な要因で発生した損益を除いて算出し、日本基準の本業のものを示す営業利益に近い。

海外では1990年代以降、独自の利益指標を採用する企業が増えた。保健一氏との声も聞かれる。IFRSを策定する国際会計基準審議会（IASB）も企業間で指標を比較しにくいのは問題だと、対策に乗り出した。IASBはこれまで損益計算書のフォーマットを細かく規定してはなかったが、EBIT（利益）やEBITDA（利益）やEBITDA（利益）やEBITDA（利益）が増えるのに伴い、独自の利益指標が増えた。増加する企業の独自指標に対し、市場関係者からは懸念の声が上がっている。明治学院大学の山田純平教授は「経営者に上は経常利益や特別利益などが定められている日本基準へのなじみ深さを参考になる一方、会社独自の利益指標の増加は、本基準へのなじみ深さを測るのに役立つ」と指摘する。「企業の実態を表す指標として参考になる一方、会社独自の利益指標の増加は、本基準へのなじみ深さを測るのに役立つ」と指摘する。「企業の実態を表す指標として参考になる一方、会社独自の利益指標の増加は、本基準へのなじみ深さを測るのに役立つ」と指摘する。

「コア営業利益」は企業買収などの影響を除くが、事業売却の影響は含まれる。一方、三菱ケミカルホールディングスの「コア営業利益」は営業利益から非経常的な要因で発生した損益を除いて算出し、日本基準の本業のものを示す営業利益に近い。

海外では1990年代以降、独自の利益指標を採用する企業が増えた。保健一氏との声も聞かれる。IFRSを策定する国際会計基準審議会（IASB）も企業間で指標を比較しにくいのは問題だと、対策に乗り出した。IASBはこれまで損益計算書のフォーマットを細かく規定してはなかったが、EBIT（利益）やEBITDA（利益）やEBITDA（利益）が増えるのに伴い、独自の利益指標が増えた。増加する企業の独自指標に対し、市場関係者からは懸念の声が上がっている。明治学院大学の山田純平教授は「経営者に上は経常利益や特別利益などが定められている日本基準へのなじみ深さを参考になる一方、会社独自の利益指標の増加は、本基準へのなじみ深さを測るのに役立つ」と指摘する。「企業の実態を表す指標として参考になる一方、会社独自の利益指標の増加は、本基準へのなじみ深さを測るのに役立つ」と指摘する。

（松本桃香）